

2015年9月7日
近鉄不動産株式会社

天王寺公園エントランスエリア「てんしば」 オープン前に芝張りイベントを開催！ お子様を中心に73名の地元の方々が参加しました！

近鉄不動産株式会社（本社：大阪市天王寺区／取締役社長：赤坂秀則）は、大阪市より管理運営を委託されている天王寺公園エントランスエリア「てんしば」について、10月1日にリニューアル・オープンを予定しています。

その象徴となる芝生広場、約7,000㎡の整備がいよいよ完工を迎えるにあたり、広場最後のピース約400㎡の芝張り作業を、地元のお子様を中心にお手伝いしてもらうことで公園に対する愛着を醸成するイベントを、2015年9月6日（日）に実施しました。

当日は天王寺公園が校区内となる大阪市立天王寺小学校など、地元の小学生やその保護者様が参加し、約40分程度の芝張り作業に熱心に取り組みました（別紙参照）。当社は、今後もイベントの開催をはじめ、様々な利用シーンで市民の方々や来園者の憩いの場となるよう運営管理をまいります。



完成した芝生広場で遊ぶ子供たち（背景あべのハルカス）

てんしば「芝張りイベント」実施概要

1. 日時 平成27年9月6日（日）9時30分から10時30分まで

2. 場所 天王寺公園エントランスエリア「てんしば」 芝生広場

3. 参加者 大阪市立天王寺小学校の生徒、保護者および「縁活※」
参加者ご家族等73名

※「縁活」とは、市民活動団体やボランティア・地域の方々・百貨店とそのお客さまが一緒になって、社会貢献活動等を楽しみながら継続して行っていくプロジェクトで、あべのハルカス近鉄本店の街ステーションを中心に、活動しています。

4. 実施内容

(1) 参加者による芝張り作業 約400㎡
4つのブロックに分かれた参加者が、約400㎡に、約4,000枚の芝生を敷詰め、てんしば芝生広場の最後のピースを張り付けました。

(2) 芝生広場に一番乗り
芝張り作業を終えた参加者が、芝生広場の感触をいち早く体験すべく芝生広場全域を自由に走り回りました。

(3) フォトセッション
作業を終えたばかりの芝生の上で、参加者全員で記念撮影をしました。
下記写真のとおり

(4) 記念品
参加者には、「てんしば」ロゴステッカー、天王寺動物園のキリンのマグネット、そして希望者には天王寺動物園の象を主とする動物たちのフンを発酵させて作った堆肥をプレゼントしました。



集合写真



芝生を張るお子様たち